

---

## 地域づくりの方向に係る現状と課題⑦

---

### 7-魅力と活力にあふれる、にぎわいのまち

- 東京を代表する都市として、商工業、観光、文化、交流を中心とした多様な機能が集約した都市づくりを目指します。
- 地域ごとの特性に彩られた活気ある地域づくりをすすめ、国内外の都市との交流を促進します。

(1) 都市の魅力による集客力の向上

(2) 産業振興による都市活力創出

## 7-1 都市の魅力による集客力の向上

### 【政策の概要】

豊島区は、池袋副都心をはじめ、巣鴨、大塚、駒込、目白等、地域ごとに様々な特色を有しています。

人々が魅力を感じ、多くの人を訪れる都市を実現するため、それぞれの個性を生かし、ハード、ソフト両面での整備を促進します。

### 【施策の体系】

- ① にぎわい魅力商工都市の形成【重点施策】
- ② 観光まちづくりの推進
- ③ 都市交流の推進

### 【分野別計画】

産業振興指針、観光振興プラン

### 【政策の進捗状況】

<b>現状・成果 ・課題</b>	<p>都市間競争が激化する中で、区独自の魅力を戦略的にプロモートしていくことが求められており、平成24年度にシティプロモーション推進室長を設置し、民間企業等を巻き込んだプロモーション活動を積極的に展開している。アニメ関連イベント等の開催を企業等と協働することで、池袋への来街者の増加につなげている。加えて、最近、民間会社の「住みたい街ランキング」において池袋が上位に入るなど、注目を集めている。</p> <p>平成16年3月策定の豊島区観光振興プラン（以下、プラン）の成果状況と見直しに向けた基礎調査を23年度に実施し、平成26年3月にプランの改定を行った。また平成26年4月には、豊島区産業振興指針（以下、指針）を策定した。</p> <p>今後は、官民一体となってプラン及び指針を遂行し、まちの魅力を引出すことで流入人口をさらに増やして、にぎわいあふれる商工都市を形成していくことが必要である。</p>
<b>環境変化 （政策に影響 を与えたもの、 今後影響を 与えるもの）</b>	<p>水族館、まんが・アニメをテーマにしたアミューズメント施設、27年5月開庁の新庁舎など、官民をあげ様々な施設がオープンしている。</p> <p>また、2013年に訪日外国人旅行者数が初めて1,000万人を達成した。2020年オリンピック・パラリンピック東京開催決定を受けて、観光気運はさらに高まっている。</p>
<b>今後の方向性</b>	<p>国際アート・カルチャー都市づくりのため、豊島区大改造プロジェクト（平成25年10月策定）に記載のオンリーワンブランドの魅力の研磨や観光ルートの開発、インバウンドの推進等に取り組むと同時に、指針で掲げた方向性のもと、文化資源・観光資源を活用し、地域産業の活性化・都市の魅力向上を図っていく。</p>

## 【成果指標】

### 成果指標の進捗状況

<b>1</b>	<b>小売業年間販売額(単位:百万円)</b>
	商業統計調査による区内小売業の年間販売額。

現状値 設定年度	目標 (27年度)	実績				
		22年度	23年度	24年度	25年度	達成率 (対目標)
772,762 19年度	→	-	-	-	-	-

※直近調査は平成 19 年度実施。26 年度実施中。

<b>2</b>	<b>テレビや新聞などで、豊島区をイメージアップする情報がよく紹介されると考える区民の割合(単位:%)</b>
	「協働のまちづくりに関する区民意識調査(平成22年6月実施)」の割合。

現状値 設定年度	目標 (27年度)	実績				
		22年度	23年度	24年度	25年度	達成率 (対目標)
27.3% 22年度	↗	27.3%	-	-	25.4%	-

## 7-2 産業振興による都市活力創出

### 【政策の概要】

豊島区内の事業所数は平成21年から24年にかけて5.4%減少し、依然として地域経済は極めて厳しい状況が続いています。人口集中と多様な機能が集積する豊島区の特長や特徴を生かした産業の振興、育成を図り、都市の魅力と活力を創出していきます。

### 【施策の体系】

- ① 新たなビジネス展開の支援
- ② 地域産業の活性化【重点施策】
- ③ 消費者権利の実現支援

### 【分野別計画】

産業振興指針

### 【政策の進捗状況】

<b>現状・成果 ・課題</b>	<p><b>【新たなビジネス展開の支援】</b> 事業者マッチングやビジネスチャンス拡大のため産業団体等と協働で産業見本市「としまものづくりメッセ」や個別商談会を開催している。さらに客観的な検証を行い効果的な事業となることが求められる。</p> <p><b>【地域産業の活性化】（重点施策）</b> 昨年ごろから景気回復の兆しが見られるものの、大企業の景況感が区内の中小企業、商店街に浸透するまでには至っていない。</p> <p>平成16年策定の産業振興計画改定のため、2か年にわたり調査を実施、商工政策審議会にて審議し「産業振興指針」を策定した。</p> <p>今後の区内産業の成長戦略として、都市計画や観光政策との連動により、まちの価値を高めるとともに、中小企業や商店街の「やる気」を最大限サポートしていくことが重要である。</p> <p><b>【消費者権利の実現支援】</b> 消費者被害未然防止ため、相談体制整備や講座等開催しているが、より多くの区民に情報提供できるよう方策を広げる必要がある。</p>
<b>環境変化</b> (政策に影響を与えたもの、今後影響を与えるもの)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 少子高齢化の進行</li><li>・ 環境問題への対応</li><li>・ オリンピック・パラリンピックの開催決定</li><li>・ 高度情報化の進展（インターネットを活用した情報発信の推進等）</li><li>・ 平成26年1月の産業競争力強化法の制定 など</li></ul>

<b>今後の方向性</b>	<p><b>【新たなビジネス展開の支援】</b></p> <p>豊島区は平成26年に成立した「産業競争力強化法」における「創業者支援事業」として国の第1次認定を取得した。今後さらなる創業者支援を強化していく。また、事業者の多様化する課題に適切に対応するため、ビジネスサポートセンターの相談機能を一層強化していく。</p> <p><b>【地域産業の活性化】（重点施策）</b></p> <p>「豊島区産業振興指針」では、「人がつどい 人がつながる 産業文化都市 としま」を基本理念とし、本区の新たな産業振興の進むべき方向性を示した。今後は、この方向性のもと、施策を展開する。</p> <p>&lt;6つの方向性&gt;①産業振興に向けた都市基盤づくり ②創業支援 ③経営基盤の強化 ④商店街の活性化と地域コミュニティの強化 ⑤文化と観光による産業振興 ⑥産業を支える人材の育成</p> <p><b>【消費者権利の実現支援】</b></p> <p>年々複雑化している消費生活トラブルを未然に防ぐためには、相談支援強化とともに、消費者教育に力を入れることが必要である。自立した消費者を育てるため、特に子どもへの消費者教育に取り組む。</p>
---------------	---

## 【成果指標】

<b>1</b>	<b>起業相談件数(単位:件)</b>
	中小企業相談件数のうち、起業に関する相談件数。

現状値 設定年度	目標 (27年度)	実績				
		22年度	23年度	24年度	25年度	達成率 (対目標)
502 21年度末	580	918	1,008	1,081	1,094	188.6%

<b>2</b>	<b>区内事業所数(単位:事業所)</b>
	事業所統計による区内事業所数。

現状値 設定年度	目標 (27年度)	実績				
		22年度	23年度	24年度	25年度	達成率 (対目標)
19,547 18年度	21,000	18,934	-	-	17,911	85.3%